



そもそも「学力調査」って何ですか？

～ 素朴な疑問にお答えします ～

今週、市の学力調査がありました。全国（2月6年生）、都（7月5年生）、市（4月4年生、11月全学年）に加え、本校独自にも実施（5月2～6年）しています。主な目的は、児童の学力や学習状況を把握・分析・評価し、学習指導上の課題や児童の取組の改善を図ることにあります。特に、個々の設問や領域等にも着目して、児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要です。

しかし、数値にとらわれてしまったり、他との比較の材料にしてしまったり、本来の目的を見失いがちな面も否めません。結果については、随時、個別の返却とともに学年の状況について保護者会等で説明しているところですが、下記のQ&Aも参考にして、各調査を有効に活用して下さい。

Q1 学力調査で測る「学力」って何ですか

学力調査は、いわゆる「相対評価」です。ある一定の評価尺度で、学力の一部を切り取り、全国的な学力を客観的に把握、分析する貴重な資料となります。

学校では、いわゆる「絶対評価」（目標に準拠した評価）を用いて、学習指導要領に照らして、教育の成果を判断しています。児童一人一人が学習指導要領の目標を実現しているかどうかで測ります。

Q2 調査結果が平均値以上であれば安心ですか

学習指導要領では、履修原理から習得原理への転換、つまり学習指導要領に示された内容の確実な習得が求められています。そのために、学習指導要領に照らして、その実現状況を見る評価を重視し、達成できたかどうかを適切に評価する必要があります。

調査結果の数値の上下ではなく、目標に準拠して達成しているか否かを評価することが重要です。

Q3 結果をどのように生かすのですか

結果を踏まえ、指導のポイントを明確に押さえた授業改善に取り組むことが特に重要です。そのため、評価の精度を高めなければなりません。教師の児童を見る眼や評価能力が磨かれてこそ、学力調査の結果を指導の中で生かすことができます。

数値のみに縛られず、児童をあたたく見つめながら育てていくことが、評価と指導の根底にあります。

Q4 数値で序列化や競争が生じませんか

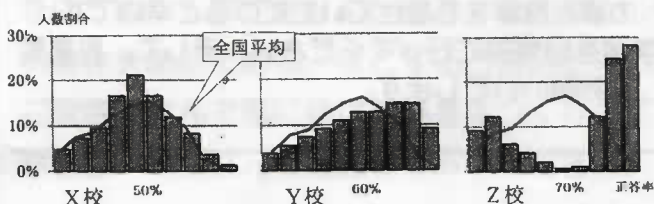
保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことは重要です。公表により、学校があらためて調査結果に正面から向き合い、教育の充実・改善に一層努めるようになることが、ねらいの一つです。

また、結果の数値で学校間を比較（序列化）することは、全く無意味です。本当に大切なことを見失わないように、次のQ5以下で説明します。

Q5. 平均正答率で学力を比較できますか

数値を分析する場合には、実施上の留意事項にあるように「平均」ととられ過ぎないことが肝心です。

例えば、下に仮想3校の正答率分布を示しました。平均正答率（全国53%）はX校50%、Y校60%、Z校70%です。しかし、学力の様相から見ると、X校は全国と同等、Y校は良好な状態、Z校は分布の偏りが大きく課題があることが分かります。



Q6. 平均未滿の割合で学力を比較できますか

目標に準拠した基準に達していない児童の割合を把握することは、指導の改善につなげるためにも大切です。しかし、ここでは基準を平均正答率に置いていますので、便宜的な目安と考えてください。

なお、下記の事例で分かるように、学校間を比較する意味はありません。

事例	児童100人の各自の正答率	平均正答率未滿の割合	この学校の平均正答率	
			平均正答率	未滿の割合
A校	全員が0%	100%	0%	0%
B校	全員が59%	100%	59%	59%
C校	全員が60%	0%	60%	60%
D校	全員が100%	0%	100%	100%

5年生（学芸会）

担任 岡田 将幸・白土 朝子

1人1人が主役！！

見ている人をワクワクさせよう！！

学芸会の練習を始める前に、学年全体で話し合い決めためあてが「見ている人をワクワクさせよう。1人1人が主役！！」です。そのめあてを達成するために、具体的にやるべきことを考えました。

- ①役になりきり気持ちを込めて台詞をいう（自分の役に合った演技を）。
- ②大きな声でおおげさに。
- ③工夫して振り付けを。
- ④自分の役目を果たそう。
- ⑤常に本番だという意識で練習しよう。
- ⑥いい意味で楽しみながら練習しよう。

以上のことを意識して練習や準備に取り組みました。最初は自分のことで精一杯でしたが、練習が進むにつれて、周りの友達に声を掛け、場面全体をみんなで良くしていこうという意識が見られるようになりました。考えたことを伝え合い、話し合って意見をまとめていく力が少しずつ身に付いてきたように感じます。また、背景や大道具づくりも協力して取り組むことができ、1人1人が自分の役割や責任を果たしていました。

学芸会当日は、とても緊張していましたが、今まで練習してきたことを発揮することができました。きっと、見ている人をワクワクさせることができたと信じています。5・6年生はこれが最後の学芸会になりましたが、きっと子供たちにとって心に残る劇になったはずです。今回の学芸会で身に付けた力を生かし、今後の学習や行事に臨んでいくことを期待しています。

最後に、本番当日まで様々な面でサポートしていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

人権パネル展



期間 12月4日（月）～8日（金）
場所 昭島市役所1階市民ロビー

人権教育担当 須藤めぐみ・白土 朝子・田中 香織

今年も人権週間に合わせて、人権パネル展が開催されます。

玉川小学校では、「～自分も友達も大切にす、豊かな心の育成～」をテーマに、日頃の教育活動の中で行っている人権教育についての取組をパネルで紹介します。

ぜひご覧いただき、ご家庭でも「人権」について、お子さんと一緒に考えてみてください。

冬休みの過ごし方

担当 花田 耕仁郎

今年も残すところあと一ヶ月となりました。子供たちが楽しみにしている冬休みは、12月26日（火）から始まり、1月8日（月）までの14日間です。

冬休みは年末・年始にあたり、生活のけじめや日本の伝統的な文化等を教えるよい機会です。ご家庭で、お子さんと一年の反省を行い、新しい年への夢と希望をもたせていただくと幸いです。

健康保持に留意していただき、計画的な生活や学習を自発的に行ってください。そして、有意義な冬休みとなりますよう、家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。